

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

11	脳血管障害患者の病態を想定し、問題点の抽出および治療プログラムの実践を行ってみる。また、担当教員が実務経験の中で培った臨床的視点も講義する。	[担当] 高村	講義、GW	脳血管障害患者を担当したとき、評価結果から問題点が抽出できるように復習をする。	1
12	脳血管障害患者の日常生活動作を学習する。また、担当教員が実務経験の中で経験した症例について工夫した点も紹介する。	[担当] 高村	講義、実技	脳血管障害患者の介助方法を中心に授業内容を復習する。	1
13	代表的な高次脳機能障害について復習し、その症状に対する理学療法を学習する。また、担当教員が実務経験の中で経験した症例について紹介する。	[担当] 高村	講義、GW	失語や空間無視の病態と評価を中心に授業内容を復習する。	1
14	神経筋疾患患者の病態を想定し、評価の実践を行ってみる。また、担当教員が実務経験の中で培った臨床的視点も講義する。	[担当] 高村	講義、実技	脳血管障害患者を担当したとき検査項目が挙がるように復習をする。	1
15	神経筋疾患患者の病態を想定し、問題点の抽出および治療プログラムの実践を行ってみる。また、担当教員が実務経験の中で培った臨床的視点も講義する。	[担当] 高村	講義、GW	脳血管障害患者を担当したとき、評価結果から問題点が抽出できるように復習をする。	1
試	筆記試験				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期の半ばに中間試験を、学期末に定期試験を実施して評価する。評価の割合は各 50%で合計 100%とする。各試験では、教科書ならびに授業で行った範囲での応用問題を出題し、理解度を問う。	試験後に解説を行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	なし			
教員の実務経験	理学療法士として 32 年経験有			
実践的授業の内容	<p>本科目は実務経験の中で担当した症例（症例を特定できる個人情報の提示はしない）を提示しながら授業を展開し、臨床的視点についても講義する。</p> <p>実習にふさわしい恰好で臨むこと。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。</p>			
そ の 他	<p>*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。</p> <p>*大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。</p> <p>問題がある場合は面接授業の参加は認めない。</p> <p>今後の感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</p>			